

平成29年度事業計画及び 収支予算の概要

社会福祉施設特別会計



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

1. 平成28年度 主な取り組みと今後の課題

項目	目標	これまでの取り組み	今後の方向性・課題
災害時の体制整備	施設の災害対応能力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP(事業継続計画)の策定 ・地域住民受入のための設備整備 等 	備蓄資材、物資の充実、訓練等による職員スキルの向上
経営基盤の強化	効率的な施設運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・共同購入の推進 ・個別経営指導 ・企業支援依頼の拡充 等 	日赤グループとしての施設経営の効率化
支部、赤十字病院等と連携した施設運営とサービスの向上	福祉サービスに従事する職員のサービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・講習事業の推進 ・専門研修への参加 	職員のスキルアップ研修の拡充・強化
ボランティア及び職員による施設運営と地域貢献の推進	地域社会での多様な社会貢献活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア、各種団体等と連携した地域貢献活動の推進 	体系的なボランティア活動の推進

2. 平成29年度事業計画 <社会福祉事業>

事業環境

- ・超少子高齢社会の進展
- ・認知症や児童虐待等の社会問題の顕在化
- ・核家族化、地域社会の希薄化等に伴う社会福祉ニーズの多様化

基本的な方向性

- ・社会福祉施設の安定した施設運営
- ・利用者への福祉サービスの質の向上
- ・地域における社会貢献活動等の推進

施策

- 社会福祉施設の運営分析及び改善策等の検討実施
- 支部、赤十字病院等と連携した救急法等の講習や専門研修等の充実
- 社会福祉施設における赤十字奉仕団及びボランティア等の活動の活性化

3. 平成29年度の事業計画

(1) 社会福祉施設の運営分析及び改善策の検討実施

社会環境の
変化

超少子高齢社会、多様化する社会福祉ニーズ

国の施策転換

社会保障給付費削減、社会福法人制度改革
国から地域へ、施設から在宅へとシフト

新たな課題の
顕在化

施設経営の悪化、介護職員の不足等

日本赤十字社
としての対応

経営改善策及び将来方針の検討・策定

日赤グループとしての施設経営の効率化

(2) 支部、赤十字病院等と連携した救急法等の講習や 専門研修等の充実

地域貢献活動

- ・育児相談
- ・子育て支援教室
- ・シンポジウム開催
- 等



介護予防体験教室
(日赤総合福祉センター)



認知症カフェ
(特別養護老人ホーム彩華園)



保育士業務体験
(秋田赤十字乳児院)



地域クリーン活動
(釧路さかえ保育園)

講習事業

- ・救急法
- ・幼児安全法
- ・健康生活支援講習
- 等



幼児安全法
県内施設合同開催
(茨城県支部乳児院)



小学生を対象とした
救急法の開催
(安謝福祉複合施設)

職員育成及び能力向上

- ・専門研修への参加
- ・施設間職員交流研修の実施

➡ 福祉サービス向上を図る

地域貢献活動の推進・サービスの質向上 ⇒ 地域に信頼される施設

(3) 社会福祉施設における赤十字奉仕団及びボランティア等の活動の活性化

赤十字奉仕団、ボランティア等の活動



ボランティアによる音楽演奏
(乳児院)



夏休みボランティアの受入
(特別養護老人ホーム)

効果的な活動の推進

- ・インターネットやSNSを活用した広報展開
- ・ボランティア活動要領等の作成
- ・施設間の情報共有(効果的な活動事例や新たなボランティア確保対策の検討)

企業のCSR活動



児童養護施設でのふれあい
オンワード×文化学園大学



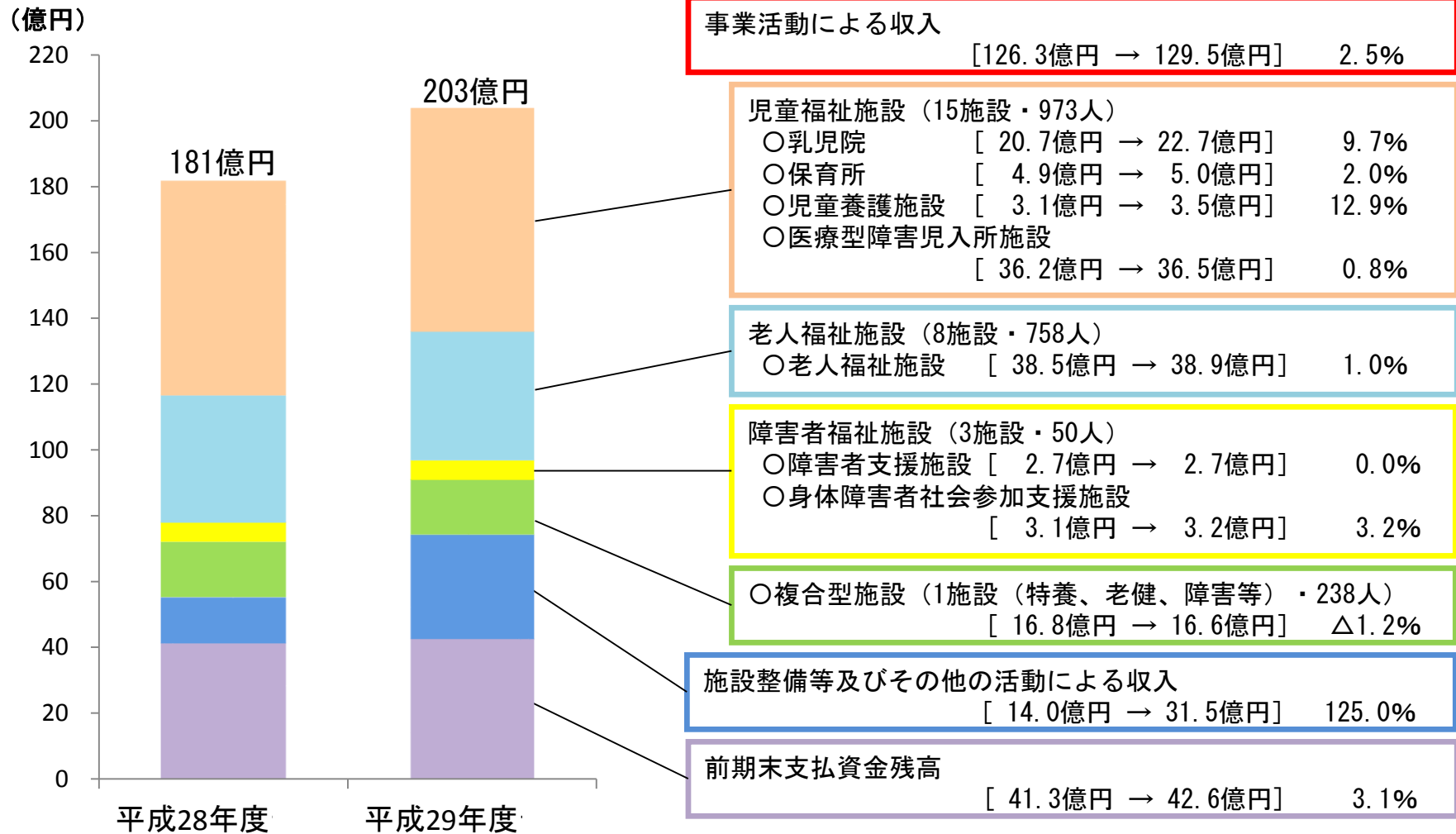
寝具等の寄贈
フランスベッドホールディングス



研修会における
他施設との意見交換

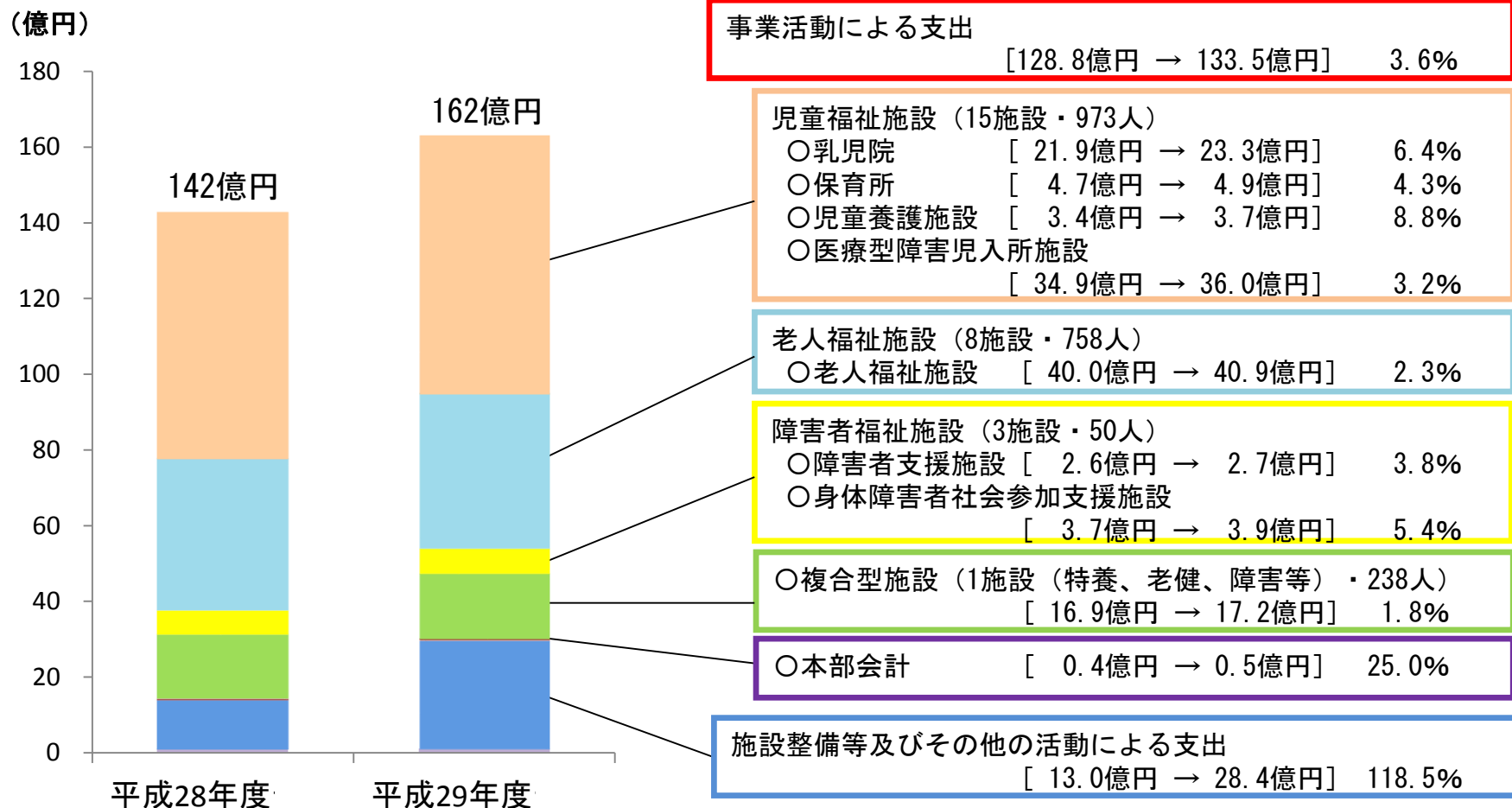
ボランティア・企業等との連携 ⇒ 地域社会との連携強化

4. 社会福祉施設特別会計歳入予算のあらまし



	平成28年度	→	平成29年度	増減額	増減率
収入合計	181億円		203億円	22億円	12.1%

5. 社会福祉施設特別会計歳出予算のあらまし



	平成28年度	平成29年度	増減額	増減率
支出合計	142億円	162億円	20億円	14.1%
収支差引額	38億円	40億円	2億円	5.0%